

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年10月8日～10月21日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、小山内、奥元、三上、蒔苗、福士、吹田、中島、外崎、田澤、福地 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 4 | 10 | | | 14 |

| | |
|------------------|--|
| 前回の改善計画 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族の思いを汲み取り、安心して利用できるようなコミュニケーションを実践し、良好な関係構築に努める。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | <ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーと共に担当職員もアセスメント等に同行することで、意識して利用者や家族の思いを汲み取ることができている。また、送迎の際などの短い時間でもコミュニケーションを図り、自宅での様子を確認したり、利用中の様子を伝えることで更なる関係構築が図られた。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか? | 4 | 10 | | | 14 |
| ② | サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか? | 3 | 10 | 1 | | 14 |
| ③ | 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか? | 5 | 7 | 1 | 1 | 14 |
| ④ | 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか? | 3 | 8 | 2 | 1 | 14 |

| | |
|--|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> 事前のアセスメントや関係機関からの情報を書面や申し送り等で共有することができている。 送迎時、訪問時に利用者、家族の思いを確認することができている。 できるだけ不安な気持ちを軽減してもらえるような声掛けや雰囲気作りを心掛けている。また、家族に対しても最初の印象が悪くならないよう、言葉や表情を意識してコミュニケーションを図っている。 アセスメントの際にケアマネジャーだけでなく他職員も同行する機会が増え、情報を詳しく知ることができている。 | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> 情報は共有されているが、しっかりと把握できていないことがある。 自分の声掛け等で利用者が安心してきているか読み取れないこともある。 介護職員ではなく接する機会が少ないため、訪問や通いでの声掛けが十分にできていない。 配属となって日が浅いため、介護者の不安やニーズを深く理解した上での関りや対応が不十分である。 | |

| | |
|--|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <ul style="list-style-type: none"> 職種に関わらず全職員が個々に意識して、積極的に利用者、家族との良好な関係構築を意識したコミュニケーションを実践する。その結果、利用者、家族の思いを汲み取り、安心して利用できるようなサービス提供へと繋げていく。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年10月8日～10月21日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、小山内、奥元、三上、蒔苗、福士、吹田、中島、外崎、田澤、福地（14名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか？ | 1 | 12 | 1 | | 14 |

前回の改善計画
 ・本人の「～したい」や本意を意識的な関わりの中から伺い、記録に残し共有することでチームとして共通した対応、関わりを目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・本人、家族との関わりや会話を意識して行うことで、利用者本人の本意を把握することが概ねできた。また、記録に残すことでチームとして共有し、最終的に共通した対応に繋がられた。

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？ | 3 | 11 | | | 14 |
| ② | 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？ | 3 | 9 | 2 | | 14 |
| ③ | 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？ | | 9 | 5 | | 14 |
| ④ | 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？ | 1 | 8 | 4 | 1 | 14 |

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・本人のアセスメント、ライフサポートプランから目標を把握することができている。
 ・担当としてカンファレンス等に出席する機会が増えたことで、本人や家族に対し、目標やどうしたいかを直接確認することでより深い理解に繋がっている。
 ・以前より本人の言動や行動を記録に残すことが多くなり、本意を聞けるように関わっている。
 ・記録や申し送りを通して、普段の関わりの内容を把握し次の対応に繋げることができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・目標は把握しているが、目標に向けた援助が十分でない。
 ・本人というよりは家族の目標「～したい」になっている。
 ・認知症の利用者の「～したい」を十分に聞き出すことができていない。
 ・利用者全員に対してというよりは、限られた利用者の対応に留まっている。
 ・記録することで皆の目に入ると思い、ミーティングでの発言までに至らなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・本人の目標「～したい」の把握に留まらず、ゴール（長期目標等）を知って支援にあたる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年10月8日～10月21日

3. 日常生活の支援

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、小山内、奥元、三上、蒔苗、福士、吹田、中島、外崎、田澤、福地 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 2 | 6 | 4 | 2 | 14 |

| | |
|------------------|--|
| 前回の改善計画 | <ul style="list-style-type: none"> 担当職員に限らず、職員全員が関わりの中から収集した情報をすぐに書き出せるよう、「以前の暮らし方確認シート」なるものを準備することで、集めた情報を速やかに共有し、支援やプランに反映できるようにする。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を経過記録表等に記録する頻度が増え共有する機会は増えたが、全利用者の把握に至っていない。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか? | | 8 | 5 | 1 | 14 |
| ② | 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか? | 7 | 6 | | 1 | 14 |
| ③ | ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか? | 1 | 7 | 6 | | 14 |
| ④ | 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか? | 5 | 8 | 1 | | 14 |
| ⑤ | 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか? | 5 | 8 | 1 | | 14 |

| | |
|---|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> 担当利用者の「以前の暮らし方」は把握できている。 過剰な介護にならないように個々の状態やADLに合わせた自立支援を実践できている。 半年ごとのアセスメントにより情報を整理し、把握することができている。 状態等に変化が見られた際はプランの見直しを図り、都度状態に合わせた支援ができている。 体調や変化については記録やミーティング等で共有することができており、変化に即時的に対応できている。 | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> 全利用者の「以前の暮らし方」の把握まで至っていない。 全利用者の声にならない声を汲み取ろうという意識が足りず、言語化しきれていない。 | |

| | |
|---|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <ul style="list-style-type: none"> 利用者全員の以前の暮らし方を10個以上把握するために、「以前の暮らし方確認シート」なるものを準備し活用することで支援やプランの反映につなげる。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年10月8日～10月21日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、小山内、奥元、三上、蒔苗、福士、吹田、中島、外崎、田澤、福地（14名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組めましたか？ | | 8 | 5 | 1 | 14 |

| | |
|------------------|---|
| 前回の改善計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても、本人の暮らしに必要な情報（民生委員や地域資源）の把握、活用を継続し、家族や地域との関係が途切れないよう支援していく。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響もあり、積極的な把握や活用につなげることができなかった。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？ | 2 | 10 | 2 | | 14 |
| ② | 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？ | | 9 | 5 | | 14 |
| ③ | 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？ | 1 | 9 | 3 | 1 | 14 |
| ④ | 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？ | | 6 | 3 | 5 | 14 |

| | |
|---|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントや本人との会話の中から、生活スタイルや自宅での様子を知ることができている。 ・送迎の際などの短い時間においても、自宅での様子を伺うことで生活内容を把握できるようになった。 ・前回の改善点を踏まえ、カンファレンスにおいて足りない部分の情報を補うよう、意識的にアセスメントしている。 ・元々、地域との関りを持っている利用者については、そのまま継続できるよう調整している。 | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・本人が自宅でどのように生活しているかの把握について、プライバシーの観点から難しい場合もある。 ・新型コロナウイルス感染対策のため、地域との関係が限られ必要最低限の支援に留まった。 ・民生委員や地域資源が把握できていない。 | |

| | |
|--|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・本人の暮らしに必要な地域資源について、担当が主となり情報収集と整理を行う。その上で、コロナ禍においても地域との関係が途切れないような支援に務める。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年10月8日～10月21日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、小山内、奥元、三上、蒔苗、福士、吹田、中島、外崎、田澤、福地（14名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか？ | 4 | 7 | 3 | | 14 |

前回の改善計画
 ・常に利用者、家族の意向や状況を勘案して、コロナ禍においても地域の資源を活用しながら柔軟に支援できるよう取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・コロナ渦ということもあり、地域の資源の活用については病院、床屋、スーパー等必要最低限の活用に留まった。

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|-----------|---|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？ | 1 | 7 | 6 | | 14 |
| ② | ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？ | 9 | 5 | | | 14 |
| ③ | 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？ | 9 | 5 | | | 14 |
| ④ | その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？ | 8 | 6 | | | 14 |

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・変化があった際には、かかりつけ医や薬局などに確認をとりながら支援することができている。
 ・利用者の変化や家族の意向を確認し、必要に応じ柔軟な支援ができた。
 ・利用者の状況や身体的な変化、コロナの感染状況等に合わせながら、「通い」「訪問」「泊り」を工夫して提供することができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・必要最低限の地域資源の活用に留まっている。
 ・新型コロナウイルスの影響もあり、地域資源の活用にも制限があった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・常に利用者、家族の意向や状況を考慮しながら、コロナ渦においても必要な地域資源を整理した上で柔軟な支援に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年10月8日～10月21日

6. 連携・協働

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、小山内、奥元、三上、蒔苗、福士、吹田、中島、外崎、田澤、福地（14名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか？ | 1 | 2 | 8 | 3 | 14 |

| | |
|------------------|---|
| 前回の改善計画 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の活動やイベントについて職員一人一人が意識して情報を収集する。その上でコロナ禍においても受け身にならず、地域の中の事業所として認識してもらえよう地域との関り、交流を実践していく。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ渦ということもあり、情報収集については回覧板や運営推進会議のメンバーからの情報に限定されたが、町内の総会や清掃活動等へ事業所として参加することができ、多少ではあるが地域の方との交流も図られた。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計（総人数） |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？ | 1 | 3 | 4 | 6 | 14 |
| ② | 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？ | | 1 | 4 | 9 | 14 |
| ③ | 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？ | | 3 | 2 | 9 | 14 |
| ④ | 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？ | | 2 | 5 | 7 | 14 |

| | |
|--|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> サービス利用開始時や退院時、カンファレンス等で他のサービス機関との関りを持つことができている。 新型コロナウイルスの影響により、地域の活動への参加が町内の総会と清掃活動のみに限られてしまった。 地域の高校生が行事の一環として訪問し、短時間ではあるが利用者、職員と交流している。 利用を検討している家族や本人が、玄関先での対応ではあったが見学を訪れていた。 | |

| | |
|---|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> サービス機関との会議には、ケアマネジャーと担当が出席することとしているため、担当を持たない職員は出席できていない。 コロナ渦で自治体や地域包括支援センターとの会議や、地域のイベント等の開催が限られたものとなっている。 | |

| | |
|--|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター等の会議に積極的に参加し、今以上に連携を図る。また、コロナの情勢を見極めた上で、積極的に地域の活動等に参加することで、地域の一員としての役割を果たしていく。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年10月8日～10月21日

7. 運営

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、小山内、奥元、三上、蒔苗、福士、吹田、中島、外崎、田澤、福地(14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | | 6 | 4 | 4 | 14 |

前回の改善計画
 ・コロナ禍においても、地域と協働し取組めるものは何があるか職員間で検討する。その結果、運営推進会議の場などで提案し実現することで、地域における事業所の存在価値を高める。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・コロナ渦で会議も満足に開催できずに、地域と協働した取組みを行うことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|---|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか? | 4 | 7 | 2 | 1 | 14 |
| ② | 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか? | 2 | 12 | | | 14 |
| ③ | 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか? | 2 | 6 | 4 | 2 | 14 |
| ④ | 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか? | 2 | 1 | 4 | 7 | 14 |

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・以前よりも、会議の場において業務内容やケア内容について意見を発言することができている。
 ・利用者、家族からの意見や苦情に対しては早急にミーティング等で話し合い、対応を検討し統一した対応を実施できている
 ・インスタグラムで事業所の様子を発信したり、パンフレットをリニューアルし地域の施設に設置していただく等、新たなPR活動に取り組むことができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・事業所のあり方についてまで考えることができていなかった。
 ・コロナの感染状況を勘案して、運営推進会議の多くが書面開催となったこともあり、思うように意見を吸い上げることができなかった。
 ・コロナ渦ということもあり、地域と協働した取組みを実施するまでに至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・コロナの情勢を見極めながら、地域と協働し取組めるものを職員間で検討する。
 その結果、運営推進会議の場などで提案し実現することで、地域における事業所の存在価値を高める(前回の継続)。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年10月8日～10月21日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、小山内、奥元、三上、蒔苗、福士、吹田、中島、外崎、田澤、福地(14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 3 | 8 | 2 | 1 | 14 |

| | |
|------------------|---|
| 前回の改善計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においてもZ o o m等w e b上での研修参加を継続し、職員個々のスキルアップの機会を確保する。また、地域の会議の情報も収集し、感染対策を徹底した上で積極的に参加する。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・Z o o m等w e b上での研修を計画したことで、コロナ禍においても概ね予定通り参加することができ、職員のスキルアップの機会を確保することができた。 ・コロナ禍のため様々な制限があり、地域の会議等の参加はごく僅かなものに留まった。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|-----------------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか | 8 | 4 | 2 | | 14 |
| ② | 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか | 5 | 5 | 2 | 2 | 14 |
| ③ | 地域連絡会に参加していますか | | 1 | 1 | 1 2 | 1 4 |
| ④ | リスクマネジメントに取り組んでいますか | 4 | 9 | | 1 | 1 4 |

| | |
|--|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・年間の研修計画に沿って研修に参加することでスキルアップできている。 ・介護支援専門員資格取得のための勉強をすることで、知識の習得やスキルアップにつなげることができた。 ・コロナ禍においても、Z o o m等w e b上での研修を計画したことで、概ね予定通り外部研修にも参加することができた。 ・ヒヤリハットメモやインシデントレポートを、会議で話し合うことで今後の対応につなげることができている。 <p>また、回覧することで対応等を共有し対応できている。</p> | |

| | |
|--|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員等の資格取得やスキルアップに関して消極的であった。 ・コロナ禍によって様々な制限があり、地域の会議の開催が限られ参加できなかった。 | |

| | |
|---|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においてもZ o o m等w e b上での研修参加を継続し、職員個々のスキルアップの機会を確保する。また、地域の会議の情報も収集し、感染対策を徹底した上で積極的に参加する(前回継続)。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年10月8日～10月21日

9. 人権・プライバシー

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、小山内、奥元、三上、蒔苗、福士、吹田、中島、外崎、田澤、福地(14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 4 | 10 | | | 14 |

| | |
|------------------|--|
| 前回の改善計画 | <ul style="list-style-type: none"> 虐待の芽チェックリストを用いて、個々のケア方法について定期的な見直しの機会を確保する。 いざ成年後見制度が必要になった場合に備え、職員全員で学びの機会を設ける。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | <ul style="list-style-type: none"> 身体拘束撤廃委員会の開催や、虐待の芽チェックリストを実施することで、適切なケア、不適切なケアを確認し見直す機会を確保できている。また、成年後見制度を利用する利用者いないため、積極的な学びに繋がっていない。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 身体拘束をしていない | 14 | | | | 14 |
| ② | 虐待は行われていない | 13 | 1 | | | 14 |
| ③ | プライバシーが守られている | 11 | 3 | | | 14 |
| ④ | 必要な方に成年後見制度を活用している | 2 | | 2 | 10 | 14 |
| ⑤ | 適正な個人情報の管理ができている | 9 | 5 | | | 14 |

| | |
|--|------------------------------|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> 身体拘束撤廃委員会を開催し、再確認することで身体拘束や虐待は行われていない。 虐待の芽チェックリストの実施は、自身の行動を見つめ直す良い機会となっている。 人権やプライバシー保護に関しては、職員間で意識高く守られている。 | |

| | |
|--|-------------------------------|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
| <ul style="list-style-type: none"> 利用者に対しての言葉遣いが乱暴になったり、親しみをこめてではあるものの友達に接するような態度になってしまっていることがある。 成年後見制度を利用している利用者がないため、積極的に学ぼうとする意識が低い。 | |

| | |
|--|----------|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
| <ul style="list-style-type: none"> 虐待の芽チェックリストを活用し、職員個々のケア方法について定期的な見直しの機会を確保する。 いざ成年後見制度が必要になった場合に備え、職員全員で学びの意識を高め学ぶ機会を設ける。 | |